

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870105693
法人名	医療法人 河原医院
事業所名	グループホーム ひめ椿
所在地	松山市今在家4丁目7-28
自己評価作成日	平成22年2月15日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年3月5日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者さまが楽しく過ごして頂けるよう、外出やイベントの計画。</li> <li>・地域の行事参加。</li> <li>・医師の往診、体調不良時に即対応できる。</li> </ul>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>町内にある法人施設や系列グループホームとともに夏祭りや敬老会時に、地域の方達と交流されている。秋祭りには事業所にみこしが来て、神主さんが利用者一人ひとりお祝いをしてください。天気の良い日には、法人施設まで歩いて受診に行かれており、出会う方に挨拶をされたり、近所の方から「元気ですか」と声をかけてもらうこともある。利用者が行方不明になったような時には、広報塔で放送してもらえるようになっている。</p> <p>公園で行われた地域の防災訓練時には、車椅子を利用されている利用者と参加し、地域の方に車椅子の押し方等を体験していただいた。事業所独自の避難訓練は夜間、昼間の火災発生を想定して年2回行っておられ、消防署の方に教えていただいた避難場所等に誘導する等、訓練をされた。</p>
---

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム ひめ椿

(ユニット名) さくら

記入者(管理者)

氏名 山口 聡美

評価完了日 H22 年 2 月 15 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 居心地の良い雰囲気を作り、自立支援の手助けを行い、向上心を持って生活して頂けるような理念をあげており、見やすい場所に掲示し、一人ひとりが実践に繋げられる様、努めている。 (外部評価) 利用者が「向上心を持って生活できるように、一人一人にあった居心地の良い家にいるような、安心できる環境作りをお手伝いします。」と事業所が目指すことを掲げてパンフレット等にも示しておられた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 夏祭りや地域のイベントに参加させて頂いたり、ホームの行事にも参加を促している。また、ごみステーションの掃除当番にも組み入れて貰い、地域の一員として交流出来ているように思う。散歩時などに出会うと挨拶を欠かさずしている。 (外部評価) 町内にある法人施設や系列グループホームとともに、夏祭りや敬老会時に、地域の方々と交流されている。又、秋祭りには事業所にみこしが来て、神主さんが利用者一人ひとりお祓いをしてくださる。天気の良い日には、法人施設まで歩いて受診に行かれており、出会う方に挨拶をされたり、近所の方から「元気ですか」と声をかけてもらうこともある。利用者が行方不明になったような時には、広報塔で放送してもらえるようになっている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会等で、地域の人々と話し合い、認知症の人の理解を促す様、努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>2ヶ月に1回実施しており、地域の方々に納得、理解 して頂ける様に意見を交換し、会議での意見は職員に 申し送りをしてサービスの向上に活かせる様努めている。 (外部評価)</p> <p>現在は、町内にある系列グループホームと合同で法人 の施設内で会議を開催されている。事業所からは行事 報告や利用者の現状報告をされている。又、法人全体 で行う夏祭り等について地域の方達と話し合う場にも なっており、行事についてのご意見等もうかがってお られる。地域の方には地域行事等を教えてもらっている。</p>	<p>さらに、貴事業所のケアサービスの向上につながるよ うな会議の工夫を重ねていかれてほしい。現在ご家族 は、事業所からは1名の参加となっているが、他のご 家族にも案内されたり、会議の内容等も伝えていかれ てほしい。貴グループホームの取り組みをさらに知っ ていただき、ご意見等をうかがえるような会議のす め方についても工夫されてみてほしい。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議で話し合うのみである。 (外部評価)</p> <p>市の担当者は運営推進会議時、事業所からの行事等の 報告を受けて意見等を言ってくださっている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>敷地外へ出られる方がいる為、ご家族や施設長の許可 を得てやむなく門を施錠している。 その他は身体拘束をしないケアが出来ている。 (外部評価)</p> <p>外部研修や法人内の研修で身体拘束をしないケアにつ いて勉強をされている。現在は、気ままに出かける利 用者があり、門扉に施錠をされている。</p>	<p>今後、事業所では職員の増員等も検討されている。さ らに、ご本人の行動についてアセスメントしながら傾 向を探り、支援に工夫を重ね、鍵をかけずにすむケア の実践に向けて取り組んでいかれてほしい。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  勉強会等で関連したものを学び、虐待のない様注意し、防止に努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  現在、入居者の中で該当する方が居ない為、学ぶ機会をもてていない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  入居前の面談時や入居される時に、文書や口頭にて説明させて頂き、入居者やご家族の意見を伺って理解や納得して頂ける様、努めている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  入居者、ご家族の要望・意見は速やかに対応できる様に努めている。玄関には意見箱を設置し、また重要事項説明書にも苦情相談窓口を明記している。相談や苦情は直接言われる事が多く、その都度『ノート』に記している。  (外部評価)  昨年、はじめて家族会を開かれ5名ほどのご家族が参加された。会議では、年間の行事予定や外部評価の報告をされたり、ご近所との交流の様子等を伝えられた。利用者ご家族へ毎月送付する書類に、事業所から個別にお便りを同封されている。便りには、事業所の行事報告や今後の行事の予定、ご本人の健康状態等、状況の報告を記しておられる。今年度は新型インフルエンザの予防のために3か月ほどご家族の面会をお断りされた。	3月に管理者の交代があったこともあり、今後ご家族との関係作り等をすすめていきたいと考えておられた。さらに、ご家族の知りたいことを探り、ご家族が定期的に知ることができるよう取り組みや食事や入浴、外出等、事業所が取り組んでいるケアサービスについても具体的に伝え、ご意見をうかがってみてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			月1回ユニット会を行い、職員の意見や提案を聞く機会を設けている。	
			(外部評価)	
			毎月のユニット会等の職員会では、行事の計画やケア等について意見を出し合い、話し合っておられる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			職員一人ひとりの事を把握し、それぞれが生き生きと働ける様、職場環境・条件の整備に努めている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			施設内の研修を計画し、職員に参加を促して知識の向上に努めている。法人外の研修はお知らせを掲示し、個々の予定が合えば参加を勧めている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			同業者との交流はなかなか行えていないが、同系列の老健や病院のスタッフとの会話の中で、知識を得たりサービスの質の向上に努めている	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			極力、ご本人の話に耳を傾けて、思っていることや要望を把握し、信頼関係を築き、安心して過ごして頂ける様、努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>相談や面談、入居時にご家族の意見や要望を把握し、信頼関係を築ける様に努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人、ご家族との話し合いにて、要望に沿ったサービスを提供する様、努めている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居者一人ひとりに添った対応を心がけているが、まだ十分ではない。気持ちに余裕を持ち、よりよい関係を築けるように努めたい。</p>	
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族には2ヶ月に1回便りを出したり、面会時には入居者の現状報告をしており、日常生活状態を把握して頂ける様、努めている。また、ご家族とご本人とのクッション役になり、密な関係を保っていけるよう、心がけている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>独居だった方が多く、深い所まで把握できていないが、入居者より希望があれば受け入れ、馴染みの人との関係が途切れない様、電話やFAX、手紙の投函等の支援に努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族が来られた際には居室でゆっくり過ごせるように配慮されたり、遠くにお住まいのご家族からファックスをもらった際に、お手紙を書かれる利用者のお手伝いをされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 入居者一人ひとりの性格や入居者同士の関係を職員が把握し、トラブルが発生しない様、円滑な関係が保てる様に努めている。また、トラブルがあった場合は職員が仲裁に入り、孤立しないように努めている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退去されるとどうしても関係が途切れてしまうが、入院や同系列の施設に移られ方は、面会に行きお話をさせて頂いている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 入居者の思いや要望を尊重し、可能な限り要望に添った支援を心がけている。また、職員全員が、入居者の思いや要望を把握できるように努めている。	
			(外部評価) 要介護認定更新時に、ご本人の状態についてアセスメントするようになっている。	さらに、利用者一人ひとりの思いや意向を知るためのアセスメントにも取り組んでいかれてほしい。利用者個々の言葉の背景を探ったり、利用者個々がどのような暮らしを求めているのかということを探り、利用者個々が主体の「向上心を持って生活できるよう」な支援につなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 個々の記録やフェースシートを見て、日々の状態把握に努めている。また、ご家族の方に伺ったりもしている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々の申し送りや個人記録を見て現状の把握に努めている。また、月1回のユニット会等でも入居者一人ひとりの状態について話し合いの場を設けている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人やご家族の要望をお聞きし、ユニット会で職員間で検討し、入居者一人ひとりに添った計画を作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員会時に利用者個々の介護計画についてモニタリングされたり、支援内容について話し合われている。ご家族の来訪時にご家族の要望等をお聞きしている。ご本人のお好きな掃除や風船バレー等のレクレーションも、支援内容に採り入れておられた。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個人記録に日々の様子やケアの実践等を詳細に記入して職員間で情報を共有しながら計画の見直しに活かせる様、努めている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居者やご家族の状況、ニーズに応じて外出支援や入浴日の変更、散発支援を行い、体調不良時には同系列の施設の看護師や医師に相談・指示を仰いで医療の対応等、柔軟な支援を行っている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居者の暮らしを支えている地域資源の把握に努め、安全に暮らして頂ける様、支援している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			ご本人とご家族が希望される主治医に医療が受けられ る様、支援している。また、月2回医師の往診を受け られている。	
			(外部評価)	
			利用者、ご家族の希望するかかりつけ医を受診できる よう支援されている。ご家族が付き添われたり、職員 が同行して支援されている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			入居者に特変があれば、即同系列施設の看護師に相談 し、指示を仰いで適切な看護を受けて頂ける様、支援 している。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			入院や退院時のサマリーの授受や、退院時に入院時の 状況や注意点を詳細に聞き、良い関係作りを行っている。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所ですることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			全ての入居者やご家族との早い段階での話し合いは行 えていないが、体調不良になり、ホームでの生活が困 難であると予測される時、看護師や相談員とご家族で 話し合いをもち、説明や理解をお願いしている。	
			(外部評価)	
			事業所では今年度、医療連携加算をとって利用者ご家 族の希望に応じて、事業所でも終末期支援を行うこと を決められていた。終末期のあり方等について、ご本 人やご家族の希望や意向をお聞きすることは今後の取 り組みとなっていた。	さらに、利用者やご家族の希望等を踏まえて、事業所 内の体制作り等もすすめていかれてほしい。職員は、 利用者の持病や服薬についての知識について、全職員 でしっかり理解して支援していきたいと話しておられ た。又、ご家族の心配ごとや不安に思っていること についても、聞き取るような機会を作ってみてはどうだ るうか。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 応急手当など、初期対応に対するマニュアルに目を通したり、施設内の勉強代等で学んでいるが、十分ではない為、職員全員が実践力を身につけられる様、今後努めていきたい。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年二回避難訓練を行い、入居者の避難経路・場所を身につけている。地域との協力体制も運営推進会にて協力をお願いしている。  (外部評価) 公園で行われた地域の防災訓練時には、車椅子を利用されている利用者と参加し、地域の方に車椅子の押し方を体験していただいた。事業所独自の避難訓練は夜間、昼間の火災発生を想定して年2回行っておられ、消防署の方に教えていただいた避難場所等に誘導する等、訓練をされた。いざという時には、お隣に住まわれている大家さんの協力も得られるようになっていく。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 入居者一人ひとりの言葉かけや対応に気をつけ、プライバシーや人格を侵害しないよう、気をつけている。  (外部評価) トイレや浴室、居室等、利用者がご自分でブザーを押して職員を呼び出すこともできるようになっている。作業をする際やおしゃべりする時には、仲良しの利用者同士で行えるように配慮されている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 入居者の意思を尊重し、思う様に過ごして頂いており、可能な限り希望もお聞きして対応している。また、自己決定が困難な入居者には職員感で話し合い、支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)  可能な限り、入居者一人ひとりのペースに添った支援を心がけている。(困難な時もある)	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)  その人らしい身だしなみが出来るように声掛け、支援している。また、ご自分でするのが困難な方には援助を行っている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)  材料の下拵えや準備、片づけを手伝って頂いている。職員と一緒に食事を行うのは、現状として困難である。  (外部評価)  現在は、法人施設から必要な食材が届き、事業所で職員が調理するようになっている。2～3か月に1回行事として、焼き肉やお好み焼き等のリクエストに応えておられる。又、事業所でおやつを作ることもある。職員は、個々にお弁当等を持参し、1名は利用者とともに食べておられた。ランチマットを敷いて食事をされていた。	食事は利用者にとっても楽しみの一つである。利用者個々が「おいしい食事をさらに楽しむことができる支援」という点から事業所の食事支援について工夫できることはないか、法人も含めて話し合われてみてはどうだろうか。「利用者の向上心を支援する」という事業所の理念にも基づいて、事業所の目指すケアサービスが実践できるよう、職員の希望やご家族のご意見等も聞きながら、取り組みをすすめていかれてほしい。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)  個々の摂取量や状態(偏食や体調)を把握し、水分摂取量の確保にも努めている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)  毎食後、入居者全員に口腔ケアを促している。困難な方は職員が援助し、口腔内の清潔に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 入居者一人ひとりの生活パターンを把握し、トイレ誘導したり、状態に応じ紙パンツ、オムツ等を使用したりとその人に合った支援をしている。ご本人の無理にならない様、トイレで排泄して頂けるように支援している。 (外部評価) 排泄の記録をとって、職員が声かけしたり誘導してトイレで排泄できるように支援されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 便秘にならない様、個々に合わせた支援を行っている。(緩下剤の調整、水分量の把握等)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 一般浴と機会浴に分け、週三日の入浴対応をしているが、その日の体調に合わせて曜日を変更するなど臨機応変に対応している。 (外部評価) 浴室前には今日入浴する利用者の名札がかけられており、入浴が済むと札を裏返すようになっている。1階にはリフト浴があり、車椅子を利用されている方が入浴できるようになっている。又、入浴がない日には足浴を支援されている。	利用者の中には、毎日入浴したいと希望されたり、温泉に行きたいと思っている方もあるようだ。利用者個々の入浴の習慣や好み等を探り、体調等にも十分に配慮しながら、意向を実現できるような支援に取り組んでいかれてほしい。
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 室内の温度調節や換気等に十分配慮し、また体調や状況に応じてお昼寝をして頂く等、無理の無いように休んで頂いている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋を確認し、用法用量を理解して服薬の支援をしている。また、処方箋のファイルを作成したり、個人記録に綴じたりと、職員全員が緊急時にも素早く対応できる様努めている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 入居者の事を把握し、それぞれ好きなこと(塗り絵、計算ドリル、広告折り等)をして頂いている。また全体の行事も本人の意思や体調に合わせて参加して頂きながら、張り合いのある日々を過ごして頂ける様、努めている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 希望通りには行えていないが、少人数に分かれて支援したり、ご家族に働きかけたり職員が対応できる時に外出を行うようにしている。また、お天気が良い時はホームの庭に出て貰っている。	
			(外部評価) 法人施設で行われる行事や受診に出かけておられる。又、畑の世話をされる方もある。調査訪問時「近々、見奈良の菜の花を見に出かけ、食事をして帰るんです。楽しみにしている。」と話して下さった利用者もあつた。利用者の中には外出を嫌われるような方もあり、外出の希望を聞いたり出かけるような機会は少な目のようである。	さらに、利用者個々の行きたいところや懐かしい場所、やってみたいこと等を探り、ご家族にも相談しながら実現できるよう、取り組みをすすめてみてはどうだろうか。又、ご家族も一緒に楽しめるような機会を作る等、外出して楽しむような機会を増やし、個々の生活を広げていかれてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 金銭管理が出来る人は所持されており、外出時に使用できる様、支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望があれば電話を掛けたり手紙を投函したり、支援をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>入居者が混乱しないように配慮している。リビングや玄関には花を生けたり、季節の壁面を作ったり、居心地よく過ごして頂ける様、心がけている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者が居間に飾るお花の水切りを毎日してくださっている。居間と別の場所に外を眺めながら過ごせるスペースがあり、利用者は車椅子で外を眺めておられた。職員が色画用紙でお雛様を作り壁に飾っておられた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>一人になりたい時は居室で過ごして頂いたり、他入居者の居室へ遊びに行かれたりと、自由に過ごして頂いている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>居室にはご本人やご家族の使い慣れた物を置いて頂いている。タンスやベッドの配置もご本人が過ごしやすい様工夫されている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>各居室に洗面台があり、車椅子を利用されている方はご自分でうがいをしておられた。いろいろな化粧品を置き、食後に、ご自分で口紅を塗り直して出てこられた方もあった。又、食後には居室で横になって一休みをされる方も見られた。畳を敷き、こたつを置いている方もあった。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>廊下・階段・トイレ・浴室には手すりを設置し、ご自分のペースで安全に生活して頂けるよう、声掛け・見守り等の支援をしている。</p>	